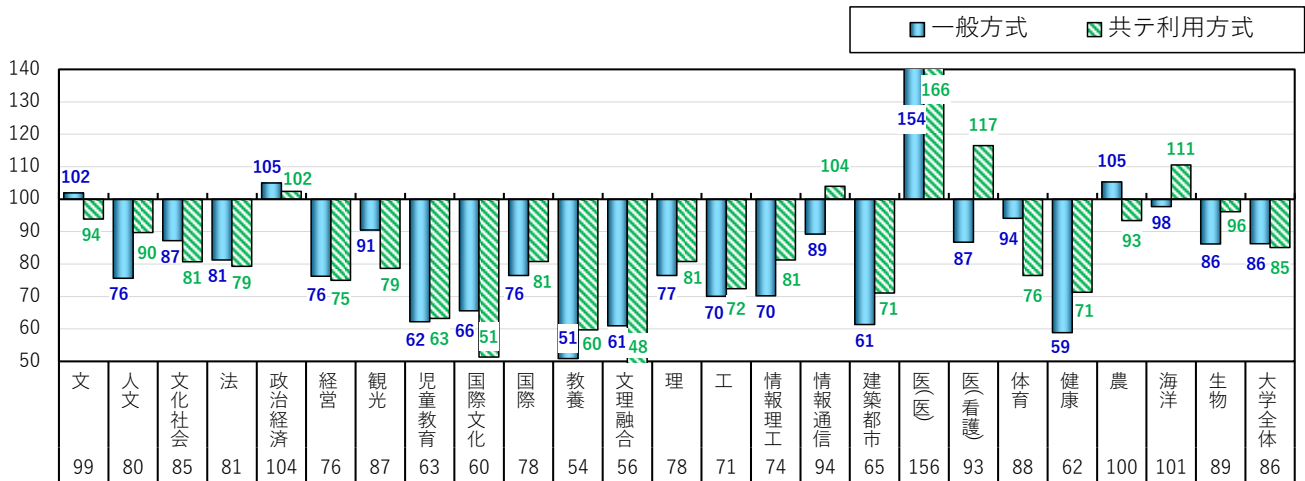


東海大：大学全体では減少、志願者数は4万人を下回る 一般：-4,222人 共テ：-2,243人



主な入試変更点

キャンパス移転：農（農、動物科学、食生命科学）…熊本キャンパス→九州キャンパス／臨空校舎
 試験日程：教養（芸術・専門試験型）、医、体育を除く＜一般＞
 …6日間のうち、各学部3日間ずつで実施→全学部同一日の4日間で実施
 医（看護）＜一般＞…3日間で実施→2日間で実施
 出願方法：教養（芸術・専門試験型）、医、体育を除く＜一般＞
 …6日間で最大18学科併願可 ※1日3学科併願可→4日間で最大12併願可 ※1日3学科併願可
 文＜一般＞
 …学部内でのみ1日3学科まで併願可→文、人文、文化社会、法、政治経済、経営、観光、国際文化、国際、
 文理融合（経営、地域社会）の10学部内で1日3学科まで併願可
 入試科目：文＜一般＞…国+歴+外→国+外+（歴公 or 数） ※歴が必須から選択へ、選択に公、数追加
 医（医）＜一般＞…＜一次＞数+理+外 ※数：数Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B→＜一次＞数+理+外 ※数：数Ⅰ・Ⅱ・A・B
 ※一次の数の出題範囲から数Ⅲ除外

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、6,465人(86)の減少で2年ぶりの減少。志願者数は40,000人を下回った。私立大志願者の1人あたりの併願校数減少が影響した。学部(医は学科)別では、24学部(医は学科)中で増加は4学部(医は学科)のみ。系統への人気が高い医(医)(156)が大幅増加、(政治経済)(104)がやや増加。あとは、(海洋)(101)と(農)(100)が微増。一方で、これらを除く20学部(医は学科)は減少、その中の14学部は大幅減少。方式別では、一般方式は4,222人(86)の減少。前年度は学部新設もあって30,000人を上回ったが、再び下回った。私立大専願者の共通テスト出題形式への敬遠もあって、共通テスト利用方式は2,243人(85)の大幅減少で4年連続減少。日程別では＜前期＞(82)は大幅減少で4年連続減少、＜後期＞(77)も4年連続大幅減少。

- ＜一般方式＞
- 文(102)は、2年連続微増。学科・専攻別では、増減が3学科・専攻ずつに分かれた。特に、(歴史/日本史)(121)、(文明)(120)は大幅増加。一方で、(歴史/西洋史)(84)は大幅減少。
 - 人文(76)は、清水校舎に新設されて2年目だが、大幅減少。
 - 文化社会(87)は、前年度増加の反動で減少。学科別では、6学科4学科で減少、特に(ヨーロッパ・アメリカ)(67)、(心理・社会)(70)は大幅減少。一方で、(文芸創作)(133)は大幅増加、(広報メディア)(112)は増加。
 - 法(81)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。
 - 政治経済(105)は、学科改組で2学科となって2年目だが、やや増加。学科別では、(政治)(119)は大幅増加で2年連続増加。(経済)(97)は前年度大幅増加の反動は小さくやや減少。
 - 経営(76)は、旧政治経済(経営)の改組で湘南・高輪校舎に新設2年目だが、大幅減少。方式別でも3方式全てが大幅減少。
 - 観光(91)は、4年連続減少。志願者数は700人を下回った。
 - 児童教育(62)は、湘南校舎に新設2年目だが、大幅減少。方式別でも3方式全てが大幅減少。
 - 国際文化(66)は、学科改組で2学科となって2年目だが、現在の2学科のみの合計で前年度大幅増加だった反動で大幅減少。
 - 国際(76)は、湘南・高輪校舎に旧教養(国際)の改組による新設2年目だが、大幅減少。方式別では、3方式全てが大幅減少、特に＜文系学部統一(前期)＞(39)は激減。
 - 教養(51)は、学科改組で2学科となって2年目だが、現在の2学科のみの合計で前年度大幅増加の反動でほぼ半減。学科別では、(人間環境)(45)は半減以下、(芸術)(78)は大幅減少。
 - 文理融合(61)は、熊本校舎に旧経営と旧基盤工の改組による新設2年目だが、大幅減少。学科別では、3学科全てが大幅減少。特に、(人間情報工)(41)は半減以下。
 - 理(77)は、前年度増加の反動で大幅減少。学科別では、4学科全てが減少。特に、(情報数理)(65)、(数)(67)、(物理)(85)は大幅減少。
 - 工(70)は、前年度に建築都市に改組された旧工(建築)、(土木工)を除いた比較では前年度大幅増加の反動で大幅減少。学科別では、7学科全てが減少。さらに(医工)(99)を除いた6学科は大幅減少。
 - 情報理工(70)は、前年度は(情報メディア)の新設もあり約2.4倍増だった反動で大幅減少。学科別では、(情報科学)(65)、(コ

ンピュータ応用工)(66)、(情報メディア)(78)と3学科全てが大幅減少。

- 情報通信(89)は、学科改組で(情報通信)の1学科となって2年目だが、減少。志願者数は1,000人を下回った。
- 建築都市(61)は、湘南校舎に旧工(建築)、(土木工)の改組による新設2年目だが、改組前の2学科合計との比較で前年度大幅増加だった反動で大幅減少。学科別では、(土木工)(48)は半減以下、(建築)(66)は大幅減少。
- 医(医)(154)は、3年連続減少の反動と、1次試験の数の出題範囲から数IIIを除外したことで大幅増加。志願倍率は39.0倍→60.0倍に大幅アップ。
- 医(看護)(87)は、減少。志願倍率は旧健康科学(看護)だった2015年度以来の9倍を下回った。
- 体育(94)は、前年度大幅増加の反動は小さく、やや減少。学科別では、5学科中3学科が減少。特に(武道)(60)、(体育)(84)は大幅減少。一方で、(スポーツ・レジャーマネジメント)(103)はやや増加、(競技スポーツ)(102)は微増。
- 健康(59)は、大幅減少で3年連続減少。志願者数は260人を下回り、2018年度の改組以降で最少。
- 農(105)は、系統への高い人気もあって、前年度大幅増加に引き続きやや増加。学科別では、学科名称変更後2年目だが、(動物科学)(118)は大幅増加、(食生命科学)(105)はやや増加。一方で、(農)(95)はやや減少で3学科中唯一の減少。
- 海洋(98)は、学科改組で3学科となって2年目だが、微減。学科・専攻別では、4学科・専攻中で2学科が減少で、(水産)(92)は減少、(海洋理工/航海学)(94)はやや減少。一方で、(海洋生物)(101)は微増。(海洋理工/海洋理工学)(100)は、前年度と同じ志願者数。
- 生物(86)は、前年度激増の反動で減少。学科別では2学科のいずれも減少で、(生物)(80)は前年度ほぼ倍増の反動で大幅減少、(海洋生物科学)(92)も前年度大幅増加の反動で減少。

<共通テスト利用方式>

- 文(94)は、やや減少。学科・専攻別では、増減が3学科・専攻ずつ。増加では、(英語文化コミュニケーション)(120)が大幅増加。一方で、減少では(文明)(66)、(歴史/西洋史)(74)、(歴史/考古学)(84)がいずれも大幅減少。
- 人文(90)は、清水校舎に新設されて2年目だが、減少。
- 文化社会(81)は、大幅減少で4年連続減少。志願者数は1,000人を下回った。学科別では、6学科中4学科が減少でいずれも減少率20%以上の大幅減少。一方で、(文芸創作)(134)は大幅増加、(広報メディア)(105)はやや増加。
- 法(79)は、大幅減少で4年連続減少。
- 政治経済(102)は、学科改組で2学科となって2年目だが、微増。学科別では、(政治)(109)は前年度大幅減少の反動で増加。一方で、(経済)(97)はやや減少で4年連続減少。
- 経営(75)は、旧政治経済(経営)の改組で湘南・高輪校舎に新設2年目だが、大幅減少。
- 観光(79)は、4年連続大幅減少。志願者数は300人を下回った。
- 児童教育(63)は、湘南校舎に新設2年目だが、大幅減少。
- 国際文化(51)は、学科改組で2学科となって2年目だが、ほぼ半減。志願者数は100人を下回った。学科別では、(地域創造)(42)は半減以下、(国際コミュニケーション)(56)は大幅減少。
- 国際(81)は、湘南・高輪校舎に旧教養(国際)の改組によって新設されて2年目だが、大幅減少。方式別では、<後期>(250)は2.5倍増だが、<前期>(76)は大幅減少。
- 教養(60)は、学科改組で2学科となって2年目だが、大幅減少。学科別では、(芸術)(104)はやや増加。一方で、(人間環境)(50)は半減。
- 文理融合(48)は、熊本校舎に旧経営と旧基盤工の改組による新設2年目だが、半減以下。学科別では、(地域社会)(43)、(経営)(48)は半減以下、(人間情報)(54)もほぼ半減。
- 理(81)は、大幅減少で4年連続減少。学科別では、4学科とも減少で(物理)(71)、(化)(77)は大幅減少、(数)(90)、(情報数理)(92)は減少。
- 工(72)は、前年度に建築都市に改組された旧工(建築)、(土木工)を除いた比較では3年連続大幅減少。学科別では、8学科全てが減少。さらに(航空宇宙/航空操縦学)(93)を除いた7学科は大幅減少。
- 情報理工(81)は、大幅減少。学科別では、3学科とも減少。(コンピュータ応用工)(75)、(情報科学)(77)は大幅減少、前年度新設の(情報メディア)(92)は減少。
- 情報通信(104)は、学科改組で4学科から(情報通信)の1学科のみとなって2年目だが、やや増加。
- 建築都市(71)は、湘南校舎に旧工(建築)、(土木工)の改組による新設2年目だが、改組前の2学科合計との比較で前年度増加の反動で大幅減少。学科別では、2学科とも25%以上の大幅減少。
- 医(医)(166)は、3年連続大幅減少の反動で激増だが、志願者数は1,000人には届かなかった。方式別では、3方式とも大幅増加だが、特に<静岡県地域枠>(302)は3倍増以上、<神奈川県地域枠>(170)は激増で地域枠の増加が顕著。
- 医(看護)(117)は、2年連続大幅減少の反動で大幅増加。志願倍率も2年ぶりに23倍を上回った。
- 体育(76)は、前年度増加の反動で大幅減少。学科別では、増加は(競技スポーツ)(108)のみ。他の3学科はいずれも減少で、(スポーツ・レジャーマネジメント)(86)は減少、(体育)(56)、(武道)(72)は大幅減少。
- 健康(71)は、4年連続大幅減少。志願者数は120人を下回り、2018年度の改組以降で最少。
- 農(93)は、やや減少で4年連続減少。志願者数は400人を下回った。学科別では学科名称変更後2年目だが3学科全てが減少で、特に(バイオサイエンス)(87)は改称前の(食生命科学)を含めると4年連続減少。他の2学科は、(農)(95)はやや減少、(動物科学)(98)は微減。
- 海洋(111)は、学科改組で3学科となって2年目だが、増加。学科・専攻別では、4学科・専攻中3学科・専攻が増加。(水産)(118)は大幅増加、(海洋生物)(113)は増加、(海洋理工/海洋理工学)(103)はやや増加。一方で、(海洋理工/航海学)(94)はやや減少。
- 生物(96)は、やや減少で4年連続減少。学科別では、(海洋生物科学)(102)は前年度大幅減少の反動は小さく微増、(生物)(91)は減少。